

## 新支部長に野崎副支部長

### 建設コンサルタンツ協会関東支部

建設コンサルタンツ協会関東支部は23日、第51回定時総会を東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で開催した。

総会では、任期満了に伴う役員改選が行われ、高野登支部長が勇退し、



新支部長に野崎秀則副支部長Ⅱ写真Ⅱを選出し、花岡憲男副支部長が再任され、新副支部長に重永智之パシフィックコンサ

ルタンツ社長と中村哲己建設技術研究所社長が選ばれた。

総会の冒頭、高野支部長が「国土強靱化に向けた防災・減災対策、老朽化が進むインフラの維持管理など、建設コンサルタンツが果たす役割は、ますます重要となつていく。会員企業が切磋琢磨し、また、一致団結、協力して、社会資本整備に貢献することが使命であり、今後も皆さんの協力をお願いする」と挨拶。続いて議事に入り、18年度事業報告などを承認す

るとともに、19年度事業計画等を報告した。

19年度事業計画では、多様な事業ニーズへの取り組み、技術競争市場の充実と技術開発、技術者を活かす組織力の充実、企業の特質を活かした自律した経営の実践などに関する様々な施策を展開していく。

総会終了後、野崎新支部長は、「新たな時代に関東支部として何ができるのか、会員の皆さんと検討し、進めていきたい」と述べた。